

◎建設部長（角田正明君） それでは、白山市都市計画についてお答えいたします。

今回の地域別構想アンケートにつきましては、本年1月26日に開催されました第7回白山市都市計画マスタープラン策定委員会に諮り、配布方法、周知方法、それからアンケート内容について御意見をいただいた上で決定、実施しているものであります。

今回の地域別構想アンケートの実施目的は、各町内会のニーズや実情に合ったマスタープランとするために、地域の問題点や課題、また将来の土地利用などの方向性に関し、町内会や組織での御意見を集約して、内容を図示、いわゆる図面に表示する、そうしていただくものであり、一個人の意見を求めたり、また個人の責任になるというようなものではないと考えております。現在、アンケート調査を実施中であり、変更することは考えておりません。

これまで、幅広く多くの市民の御意見をいただくために、平成20年4月に都市計画マスタープランに関するアンケートを小学校4年生から中学校3年生の全児童・生徒6,896人、また16歳以上で無作為抽出の市民の方9,975人、そして商工業事業者、これは全部でございますが、3,032件、そのほか認定農業者・農業従事者508件、これらの方々を対象として実施をいたしております。

そのうち、商工業事業者3,032件のうち898件、約30%の回答率でありました。アンケートの配布総数は約2万400件に対し、約1万1,100件の回答があり、回答率は54%と非常に高い数値を示しております。市民の関心の高さがうかがえ、大変多くの意見をいただいたところでございます。

その後、昨年12月には全体構想案に関するパブリックコメントを実施し、市民の御意見をいただきました。また、12月13日に開催いたしました市民会議では、180名の市民の出席をいただきまして、マスタープランの御理解を深めていただき、またその場で簡易アンケートによる御意見もいただいております。

今後の地域別構想につきましては、策定委員会で十分に審議し、その後、本年7月と10月の2回にわたり、地域の方々との意見交換の場を予定しており、来年3月のマスタープラン策定に向けまして進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。